

地域の福祉のお仕事シリーズ⑦

社会福祉協議会では、誰もが住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、地域の皆さんとともに“ふくしのまちづくり”を進めています。

地域の福祉のお仕事シリーズでは、社協の事業とともに地域で活躍しているさまざまな福祉の専門職をご紹介します。“ふくしのまちづくり”が、

ふだんのくらしのしあわせにつながりますように。

社会福祉協議会の **鶴ヶ島 社協** で **検索**
ホームページ・Instagramをご覧ください。

この「社協だより」は、共同募金配分金により作成しています
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



ホームページ Instagram

ふくしの 社協だより No.154 R6.11.1 まち

ふれあいネットワーク

社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会



言語聴覚士

医療法人社団満寿会「鶴ヶ島在宅医療診療所」



言語聴覚士とは、言語や聴覚、摂食・嚥下などに障害のある人にさまざまな訓練や指導を行うお仕事です。今回は、「鶴ヶ島在宅医療診療所」の言語聴覚士 新井 夏未さんにお話を伺いました。

🎤 お仕事の詳しい内容を教えてください。(この仕事を選んだ理由、1日の流れなど)

人とコミュニケーションを取ることが好きで、言葉のリハビリを行う言語聴覚士に興味を持ち目指しました。資格取得後、回復期リハビリテーション病院を経て、鶴ヶ島在宅医療診療所に入職しました。

現在、言葉の障害や飲みこみの障害など、人間が生活を送る上で大切な機能に対してのリハビリを入院患者や訪問リハビリの利用者を中心に実施しています。

🎤 大変なこと、やりがいを感じることを教えてください。

病後の後遺症により、口から食べられなくなった方や、言葉が上手く話せなくなった方に対し、リハビリを行う



ことで、口から好きな物が食べられるようになることや、家族や友人と会話を楽しむことができるようになるなど、利用者がその人らしさを取り戻し、日常生活を楽しく過ごすことができるようお手伝いができた際は、とてもやりがいを感じます。



🎤 今後の目標、やりたいことなどを教えてください。

言語聴覚士はまだまだまだ知られていない職業ではありますが、人間が最後まで大事にしたい食べる・話すという機能についてのリハビリを行うとてもやりがいのある仕事です。

鶴ヶ島在宅医療診療所を利用していただいた地域の皆様が、リハビリを行うことで、慣れ親しんだ場所で、安心して暮らせるよう、微力ながら貢献出来たらと思います。





彩の国ボランティア体験プログラム2024 in 鶴ヶ島

つるボラ報告!!

彩の国ボランティア体験プログラムとは、だれもが気軽にボランティア活動に参加できるきっかけづくりのために実施するプログラムです。今年も鶴ヶ島市では、地域や施設でのボランティア活動を小学生から大人まで多くの方が実施しました。残念ながら台風の影響等で中止になったプログラム等もありましたが、皆さんとひと夏の思い出が出来たと思います。



車いすメンテナンス体験



おもちゃを作って寄付しよう



朝市のお手伝い(すねおり地域支え合い協議会)



取材ボランティア

ボランティア 活動感想

(一部抜粋)

〈取材ボランティア〉

今回でボランティア活動をしたのが2回目ですが、こんなにも貴重な話をさせて頂いて、凄く自分のためになったと思います。今、私たちが当たり前のように生きている世界はずっと昔の戦時中の人達にとって、ものすごく望まれた世界だったんだろうなと思うと、普段見ている景色がものすごく愛おしく思えました。戦争が無い時代に生まれてきた私は本当に恵まれていると思いました。こんなにも幸せな環境で育つ事が出来たので恩返しとして自分なりにいろいろなことに頑張っ、戦時中に亡くなって行った方たちの分まで長生きして見せたいなと思います。今回は本当に貴重な話をありがとうございました！ (西中学校3年Tさん)

〈つるがしま白百合幼稚園〉

2日間のボランティアに参加させていただきありがとうございました。1日目の朝はとても緊張して不安でした。しかし一つひとつ分かり易く教えて貰えたのでとても安心しました。また、子ども達の笑顔がとても輝いていて、見ている私まで笑顔になれて楽しかったです。先生方は他のクラスと行き来しながら何度もトイレに連れて行ったり、一人ひとりの話を聞いたり、ずっと忙しく大変だったと思います。そんな中私の事まで見て下さり、ありがとうございました。(藤中学校1年Tさん)

〈鶴ヶ島ケアホーム〉

この度は三日間ボランティア活動に参加させていただき誠にありがとうございました。私は今回のボランティア活動で清拭作りや昼食の配膳などどれも初めての体験でしたが、職員さんが懇切丁寧に教えて下さりとても分かり易かったです。また来年も是非参加させていただきたいです。(鶴ヶ島中学校2年Oさん)



～「集いの場」「ボランティア団体」の紹介～

このシリーズでは、地域で気軽に参加できる「集いの場」や「ボランティア団体」を紹介していきます。第三弾は、「集いの場」からの紹介です。

地域の「集いの場」

ここで言う「集いの場」とは地域にお住まいの方々が気軽に集え、地域の「仲間づくり」「出会いの場づくり」「健康づくり」になるものです。

最近では、ご近所であいさつをする機会や玄関前での立ち話など、ご近所同士がコミュニケーションをとることが減ってきており、高齢者や子育て中の親同士が交流する場が少なくなってきました。

集いの場はそんな地域の方たちが参加し、定期的集まることで顔なじみの輪を広げ、いきいきとした楽しい生活を送ることを目的としています。



サロン松ヶ丘らくらく健康麻雀



「男性も参加できる場を、楽しく交流し仲間づくりにつながる場を」との思いで5年前に立ち上がりました。頭脳のスポーツとして脳トレ効果あり、認知症・介護予防になるといわれる麻雀。初心者、男性も女性も大歓迎です！



場 所：松ヶ丘自治会集会所
日 時：毎週水曜日午後1時～4時位
参加費：200円/月

●市内の健康麻雀サロン

サロン名	会 場	日 時
サロン松ヶ丘らくらく健康麻雀	松ヶ丘自治会集会所	毎週水曜日午後1時～4時位
健康麻雀教室	北市民センター	毎月第2・4水曜日午後1時～5時位
健康増進麻雀倶楽部	星和若葉台自治会集会所	毎週土曜日午後1時～5時位
コンフォール若葉健康麻雀サロン	コンフォール若葉集会所	毎週火曜日午後1時～5時位
鶴ヶ丘マージャンクラブ	鶴ヶ島文化会館	毎週火・木曜日午後1時～5時位

他にも、体操、料理、パソコンなど様々な内容の集いの場があります。

ご興味のある方は、お気軽に社会福祉協議会までお問合せください！

※社会福祉協議会のホームページの活動拠点マップ「さあ行こう！」に集いの場一覧を掲載しています。



詳しくはこちら



災害ボランティア派遣 ～いざという時の地域のカ～

今年の元旦に発災した能登半島地震は、発災から半年以上経過しているにもかかわらず復興がなかなか進んでいません。鶴ヶ島市社協から、石川県輪島市の災害ボランティアセンター運営支援のために6月～7月にかけて2名の職員が現地へ派遣されました。



皆で災害を乗り越える(活動報告)

現地では、被災者の困りごとを把握し、とりまとめ・整理して、ボランティアの受入れへ繋げる活動を行いました。

輪島市内は、まだ断水も続いており、被災した自宅や仮設住宅で生活している方がたくさんいらっしゃいました。亀裂や陥没、通行止めの道が多いために公費解体がなかなか進まず、倒壊したままの家屋がたくさん見受けられました。

長期化する被災地での生活を支援するため、輪島市社協では、生活面や住宅復旧など暮らし全体を支え合っているよう「輪島市災害ボランティアセンター」を「輪島市災害たすけあいセンター」へ改称し、ボランティアによる家の片付けにとどまらず、被災した方々の様々な生活の相談に社協職員だけでなく民生委員や現地の方々が対応していました。地域の皆で災害を乗り越えようと活動していました。



普段の支え合い助け合いが、災害時の力に(活動を通して感じたこと)



地域の方々や関係者が一丸となりそれぞれが助け合う姿に、とても感銘を受けました。このような活動は、普段の支え合い助け合いが根底にあるからこそ出来ることであり、日頃の声掛けや繋がり大切さを改めて実感しました。

鶴ヶ島市社協では「ここつなネット(*)」の活動の中で、ご近所同士が顔見知りになり普段からちょっと気に掛け合うチーム作りを推進しています。災害時に限らず、いつでも安心して

暮らせるまちづくりを市民の皆さんと一歩ずつ確実に進めていきたいと思えます。

「ここつなネット」に興味のある方は、ぜひ社会福祉協議会へご連絡ください！

(*)「ここつなネット」(心と心をつなぐネットワーク活動)とは

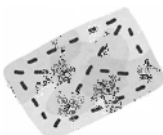
災害時に支援が必要な方や、日常的に地域の関係を作りたい方を中心に、近所の方と見守り合うチームを作る活動です。9月末現在、464チームが活動しています。この活動は、市が取り組んでいる「避難行動要支援者個別支援計画」と連動しています。



「ここつなネット」
はこちら

奉仕活動のためのタオルを募集します

タオルを集めて雑巾を製作し、市内の福祉施設へ寄付しています。たいへん喜ばれていますので未使用のタオルがありましたら、社協窓口までご持参ください。



問合せ 市役所6階 社会福祉協議会
(鶴ヶ島市赤十字奉仕団事務局)



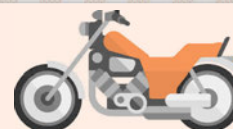
鶴ヶ島市と災害ボランティアセンターの 設置・運営等に関する協定を締結

令和6年2月20日に鶴ヶ島市と「災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」を締結しました。本協定は、災害時に社協が災害ボランティアセンターを円滑に設置し、ボランティア活動を推進するために必要な事項を定めるものです。

今後も総合防災訓練への参加等を通して、さらに市との連携を図っていきます。



バイクライダー募集!



令和6年11月24日(日)午前中の鶴ヶ島市総合防災訓練に、あなたの愛車で参加しませんか?

私たち(略称「埼玉RB」)はバイクの機動性を活かし災害・防犯を支援する団体で、埼玉県下で活動しています。RBは「レスキューバイク」の意味で、新潟中越震災・東北震災そして能登震災に出動しています。興味のある方は、インターネットで「埼玉RB」を検索し、団体のホームページをご覧ください。お気軽に、ホームページの問い合わせ先からメールでのご連絡をお待ちしています。

実習生レポート

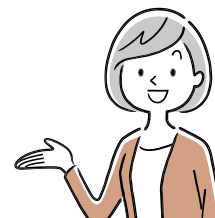
社協ってこんなところ!!

今年度も社協に学生の実習生が来ました。福祉の資格を取得するために、社協で様々な実習を行っています。実習生が体験した社協の事業をご紹介します。

○就労支援

生活困窮者就労支援プログラムの農作業に参加させていただきました。当日は、利用者3名と社協職員2名と一緒にかぼちゃの収穫と枯れ草除去作業でした。社協の畑があることも初めて知りましたが、畑の管理も職員や施設の方がお手伝いしてくださったり、何より利用者の方々の手際よさにおどろきました。

いつか社協農園が大きくなり、地域で販売するようになったらいいですね。その時は、お客さんとして購入させていただきたいです。



市内在住 Sさん



○手話奉仕員養成講習会

手話講習会の基礎講座に参加させていただきました。入門講座を修了された方々が参加されており、さすがに皆さん理解が早く、講師の先生とも和気あいあい楽しく学ばれていました。

私も個人的に手話に興味があったため、今回見学させていただきました。ぜひその機会があったら手話を始めたいです。



埼玉県共同募金会鶴ヶ島市支会からのお知らせ

共同募金運動がはじまりました！

みなさまのご協力をお願いします

10月1日から3月31日までの6か月間にわたり、全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が行われています。鶴ヶ島市内でも「赤い羽根共同募金運動」が10月1日から行われ、12月1日からは「地域歳末たすけあい運動」も始まります。

みなさまの温かいお気持ちが地域に届けられるよう、今年度もご理解とご協力をお願いいたします。



自分の町を良くするしくみ 赤い羽根共同募金の仕組み



①助成の計画を立てる

埼玉県共同募金会に寄せられた助成要望をもとに、市町村ごとに目標額が定められます。
今年の目標額（埼玉県）8億6,259万2,000円（鶴ヶ島市）749万9,000円



②募金をする

募金をする人、集める人。たくさんの人のやさしさが、共同募金を支えています。
お預かりした募金は、埼玉県共同募金会で一度まとめられます。

募金運動の様子



ワカバウオーク



鶴ヶ島駅

※写真は令和5年度に鶴ヶ島市民生委員・児童委員連合協議会のみなさんにご協力いただいた街頭募金活動の様子です。

オンラインで簡単募金できます！

中央共同募金会では、赤い羽根募金をはじめ災害ボランティア活動等への支援金などが、オンラインで寄附できます。

携帯・スマートフォン等があれば、5分でできる！
クレジットカード決済や携帯電話料金でまとめて、500円以上の寄附ができます。

※詳しくは
中央共同募金会HPを
ご覧ください →



③地域に配分される

埼玉県共同募金会に寄せられた募金は、下記のとおり配分されます。

- **地域配分** 市町村社会福祉協議会等、身近な福祉への活用
- **広域配分** 埼玉県内の社会福祉施設・団体等、県全体の福祉の向上に活用



④身近な地域が笑顔であふれる

社会福祉協議会へ配分された募金は、次の事業に活用しています。（地域配分）

共同募金の使いみち 助成額合計 3,226,000円（令和5年度）

赤い羽根募金 助成額 1,561,000円

- ・ 広報事業（社協だより発行事業、ホームページ運営事業）
- ・ 福祉教育・体験学習推進校等助成事業
- ・ ふれあい・いきいきサロン推進事業
- ・ ボランティア・市民活動団体及び小地域活動支援事業
- ・ 心と心をつなげるネットワーク活動事業

地域歳末たすけあい募金 助成額 1,665,000円

- ・ 広報事業（社協だより発行事業、ホームページ運営事業）
- ・ ふれあい・いきいきサロン推進事業
- ・ ボランティア・市民活動団体及び小地域活動支援事業
- ・ 金婚祝賀式並びに感謝状贈呈式
- ・ 歳末援護事業（さいまつ♥ほっと事業）



コミュニティハウス まさこ食堂 がオープンします！

まさこ食堂（子ども食堂）では地域交流を目的とし、無料で食事を提供します。無料の学習の場やイベントなども検討中です、気兼ねなくお立ち寄りください。

お立ち寄りの際は、事前にHPからお申込みをお願いします。
詳しくはHPをご覧ください。



申込みはこちら

2024年11月1日(金) 開店
毎週金曜日 午後4時～午後7時
場所 鶴ヶ島市中新田113-11



主催：さんきゅー株式会社
後援：西部地域支え合い協議会、
地域包括支援センターかんえつ、
鶴ヶ島市社会福祉協議会

「地域共生社会」標語 受賞作品が決定

受賞作品

- だれひとり おいていかない この地域
- 助け合い 君も私も 主人公
- 「ありがとう」 言い合えるのが あったかい
- 誰もが誰かのためになる
- つながりで 増やす 笑顔と 心の輪
- やさしさで 明るくともそう 地域のともしび
- 気になれば 一歩踏み込む 大丈夫？
- わかちあい 苦しみ半分 喜び2倍

今回たくさんのご応募をいただきました！どれも素晴らしい作品ばかりでした。

ご応募いただきました皆様、誠にありがとうございました。

受賞された方には、社会福祉協議会からプレゼントをお届けいたしました。

標語は市内のイベントでしおりとして配布予定です。その際にはどうぞお手に取ってご覧ください。

鶴ヶ島市立図書館

つながるアート展2024 開催案内・作品募集



障害のある方のアーティスト的な感性を活かしたオリジナルなアート作品を展示します。また、作品を募集します。

日 時：令和6年12月4日(水)～12月15日(日)
午前9時～午後6時30分
(最終日のみ午後5時まで)

場 所：鶴ヶ島市立中央図書館 2階 展示室

参加費：無料

募集作品：障害を持つ方の絵画や写真などのアート作品（画材不問）※デジタルアートを除く

サイズ：立体：180cm×80cm×100cmまで
平面：80cm×330cmまで

応募方法：令和6年11月17日(日)までに作品出展申込書にご記入の上、作品と一緒に中央図書館へ直接お持ちください。

※作品出展申込書は図書館で配布します。図書館ホームページからもダウンロードできます。

備考：額縁をご用意ください。用意ができない場合はそのまま展示します。

作品の裏側左下にお名前をご記入ください。作品は1人2点まで（応募多数の場合、展示は1点のみ）

問合せ：中央図書館 小関・モス 毛須
電話049-271-3001 FAX049-271-0121

あたたかい善意、ありがとうございました。
(社会福祉協議会への寄附)

お寄せいただきました善意は、社会福祉事業に活用させていただきます。(順不同、敬称略)

富士見ゴルフクラブ	6,753円
町田 弘之	10,000円
生活環境課 ヘチマ料理教室	549円
もりのひかり	13,627円
木村 穂子	100,000円
小川 清次郎	10,000円
小林 勝	車いす
横山 明美	プリザーブドフラワー、ドーム、造花

その他、匿名にて4名の方から寄附金と物品をお寄せいただきました。
(令和6年6月1日～令和6年9月30日)

「金婚祝賀式並びに感謝状贈呈式」 事業終了のお知らせ

地域歳末たすけあい募金の配分金を財源として「金婚祝賀式並びに感謝状贈呈式」事業を実施してきましたが、今年度より「生活困窮世帯の子どもを支援する事業」に取り組むため、本事業を終えることになりましたのでお知らせいたします。

今後も、社会情勢や地域課題に沿った事業へ皆さんの募金を活用させていただきます。



さいまつ♡ほっと事業のお知らせ

地域歳末たすけあい運動テーマ
「地域から孤立をなくす」

この事業は、地域歳末たすけあい運動で寄せられた募金から支援を必要とする方（世帯）に、明るい新年を迎えられるよう支援する事業です。地域の民生委員のご協力のもと、歳末訪問活動も兼ねて実施しております。

申請がない場合には、援護品をお渡しできませんのでご注意ください。

対象者

（生活保護世帯、中国
残留邦人等生活支援
事業対象者は対象外）

(1) 市内に住所があり、次のいずれかに該当する方

- ① 80歳以上で一人暮らしの方
- ② 身体障害者手帳1級もしくは2級を所持する方
- ③ 療育手帳（みどりの手帳）AもしくはAを所持する方
- ④ 精神障害者保健福祉手帳1級を所持する方



(2) 市内に住所があり、次のいずれかに該当する世帯

- ⑤ 就学援助事業に認定された児童・生徒（準要保護世帯）
- ⑥ 児童扶養手当の全部支給世帯（※一部支給世帯は対象外です。）

(3) その他

- ⑦ 民生委員より申請があり、鶴ヶ島市社会福祉協議会会長が必要と認めた方

内容

下記3点より1つ選択していただきます。

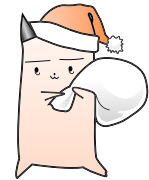
a：お米券 b：お茶と煮豆のセット（市内特産品）

c：お食事券 ※募金額や申請数により、援護品や金額の変更があります

申請方法

申請書に必要事項を記入し、対象であることが分かる書類（生年月日が記載されている公的書類・障害者手帳等）を添えて、社会福祉協議会や各市民センター、老人福祉センター、若葉駅前出張所のいずれかに提出してください。

申請書は、市内各公共施設、社会福祉協議会にあります。
また、ご自身での申請が難しい場合は、ご相談ください。



申請期限

令和6年11月15日（金）（必着）

なお、対象者への援護品は、12月中旬以降に、地域の見守りを兼ねて民生委員や社協職員がご自宅へお届けします。

<事業の協賛> 鶴ヶ島市茶業協会 様、菊池食品(株) 様、つるがしま逸品会 様、NPO法人こすもす 様、NPO法人パン工房カウベル 様、ゆめの園アクト鶴ヶ島 様

年末年始のお知らせ

●生活困窮者に対する緊急的な相談支援

生活困窮状態にある方へ相談支援を行います。
解決方法を一緒に考えていきます。

期 間 令和6年12月1日～令和7年1月31日

※令和6年12月28日～令和7年1月5日は休業です。

問合せ 生活サポートセンター（窓口一覧を参照）

●手話通訳事業

令和6年12月28日～令和7年1月5日は、受付業務がお休みとなります。この期間中に手話通訳を利用したい方は、12月20日（金）までにお申し込みください。

問合せ 手話通訳者派遣事業（窓口一覧を参照）

窓 口 一 覧

■ 鶴ヶ島市社会福祉協議会

〒350-2217 鶴ヶ島市三ツ木16-1（市庁舎6階）

（月～金曜日 午前9時～午後5時15分）

電話 049-271-6011（代表） FAX 049-287-0557

●手話通訳者派遣事業担当

FAX 049-271-6277 電話 049-271-6278

●権利擁護支援センター

電話 049-277-3317

●障害者相談支援事業所

●鶴ヶ島市生活サポートセンター

電話 049-277-4116

■ 鶴ヶ島市立障害者生活介護施設「きいちご」

（月～金曜日 午前9時～午後5時15分）

〒350-2217 鶴ヶ島市三ツ木935-1

電話 049-287-7456 FAX 049-298-3241